

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケート 自由記載意見集計表

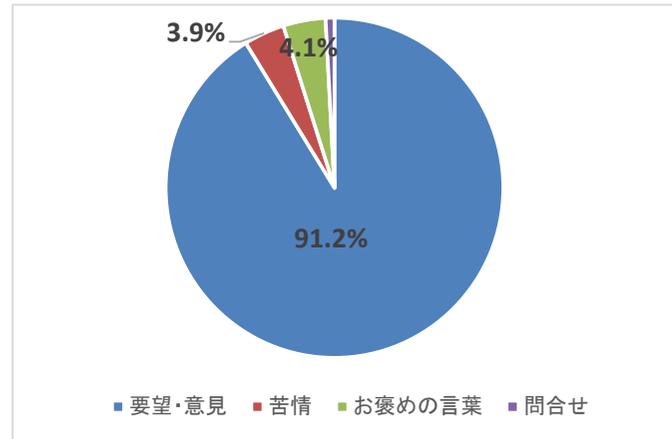
自由記載意見

区分	件数	前年度	比較	
記載者数	407	348	59	17.0%
意見数	591	506	85	16.8%

※一記載者から複数意見が挙がる場合があるため、記載者数と意見数は一致しない。

種類区分

区分	件数	前年度	比較	
要望・意見	539	469	70	14.9%
苦情	23	23	0	0.0%
お褒めの言葉	24	14	10	71.4%
問合せ	5	0	5	—



所管区分

区分	件数
地域づくり推進課	13
防災防犯課	54
環境課	14
市民課	1
東部出張所・葉の木沢山活動センター	0
健康づくり課	20
子育て課	26
こども家庭センター	6
保険年金課	15
地域福祉課	3
生活福祉課	0
高齢者福祉課	14
地域包括支援センター	3
観光物産課	11
企業振興課	13
若者活躍推進室	4
農林課	47
都市政策課	69
道路課	56
河川公園課	16
経営課	2
施設課	8
総務課	20
企画政策課	81
たきざわ魅力発信室	25
情報システム課	0
財務課	4
税務課	7
収納課	2
会計課	0
教育総務課	1
学校教育指導課	14
生涯学習スポーツ課	9
文化振興課・埋蔵文化財センター・図書館	2
税務課	7
収納課	2
会計課	0
議会事務局	1
監査委員事務局	0
農業委員会事務局	0
選挙管理委員会事務局	0

※複数課にまたがる意見も含む

570

内容区分

区分	件数	前年度	比較
地域・交流	12	20	-8
防災	5	1	4
防災行政無線	17	13	4
防犯・街路灯・交通安全	33	28	5
環境（住環境）	4	14	-10
ごみ	4	6	-2
医療・医療費	31	39	-8
子育て	28	30	-2
高齢者福祉	16	9	7
健康・検診など	12	1	11
その他福祉	4	12	-8
産業振興（全体的）	2	1	1
雇用・企業誘致	13	22	-9
観光	8	1	7
特産品	4	6	-2
商業	1	7	-6
農業	2	3	-1
都市計画・土地利用	27	12	15
公園	13	15	-2
道路（整備、維持管理など）	20	16	4
歩道	4	4	0
除雪	32	22	10
交通網	43	53	-10
河川	2	1	1
下水・上水	10	12	-2
教育（小・中）	17	15	2
芸術・文化・スポーツ	7	7	0
職員・市役所	21	17	4
総合計画関連	2	0	2
市制	2	2	0
広聴・広報・HP	27	17	10
アンケート	18	23	-5
財政	1	0	1
公共施設	13	16	-3
料金・手数料	0	0	0
税金	8	2	6
議会	1	1	0
鳥獣	43	0	43
その他	84	58	26
	591	506	85

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	地域づくり推進課
件 名	自治会活動について		
状 況 等	<p>自治会や地域づくり活動団体は、市民の皆さまが連携・協力しながら、地域の課題を解決するために様々な活動に取り組むことで、人と人とのつながり(交流)をつくっています。その取組みの中には地域の価値を高めるための清掃活動などがあると認識しております。また、市からの情報を市民の皆さまに届けていただくため、広報配布や回覧作業などを自治会にお願いしております。</p> <p>市といたしましても、自治会への過度な協力依頼を行わないように関係各課に周知するとともに、集金方法や事業の見直しについて工夫している自治会の事例を紹介し参考にいただけるよう努めてまいります。</p>		
件 名	ビッグループ滝沢の利用について		
状 況 等	<p>ビッグループ滝沢は、多目的に利用できる地域交流・市民活動の拠点施設であり、市民の皆さまをはじめ多くの方々にご利用いただいております。おかげさまで稼働率も高く、ご利用を希望されている方へはご不便をおかけしております。地域活動の拠点としてはこのほかに、各地区のコミュニティセンターもございますので、ご活用いただきたくご案内します。</p>		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	防災防犯課
件 名	防犯灯の設置について		
状 況 等	市では、暗路における歩行者の安全確保のため、防犯灯を設置しています。防犯灯の設置については、自治会や学校から取りまとめた要望をもとに、現地点検の上、設置基準や優先順位を考慮しながら進めています。要望の取りまとめや設置基準については自治会や学校へ周知していますので、一度お住いの自治会にご相談いただきますようお願いいたします。		
件 名	信号機の設置、交通安全対策について		
状 況 等	信号機や横断歩道、速度規制などの交通規制は公安委員会の所管となっておりますが、市では交通安全の取り組みとして、毎年、自治会や学校からの交通規制に関する要望を取りまとめ、盛岡西警察署に対し相談や改善依頼を行っています。交通規制については設置基準があるほか、交通環境へ与える影響を総合的に考慮する必要があり慎重に検討しているとのことです。市では、自治会や学校から頂いた要望について関係機関と連携しながら交通安全対策を検討してまいります。また、取り締まり強化につきまして、住民の方からいただいた情報を警察に共有し交通安全対策を図ります。		
件 名	カーブミラーの設置について		
状 況 等	カーブミラーについては、自治会からの要望をもとに、現地点検の上、設置基準や優先順位を考慮しながら整備を進めています。要望の取りまとめや設置基準については自治会へ周知していますので、一度お住いの自治会にご相談いただきますようお願いいたします。		
件 名	防犯対策について		
状 況 等	市では、警察や防犯団体のご協力をいただきながら、青色回転灯装着車両による自主防犯パトロールや、少年補導員による青少年健全育成に取り組んでいます。また、犯罪抑止のために防犯灯の設置を進めています。今後も、効果的な対策を検討しながら市内の防犯に取り組んでまいります。		
件 名	自転車の交通安全について		
状 況 等	市では、警察や、交通安全団体の協力をいただきながら、街灯での啓発活動や指導、交通指導員による通学路での街頭指導を実施しております。また、市で交通安全教育専門員を任用し、市内小中学生への交通安全教育を行っております。今後も効果的な対策を検討しながら市内の交通安全活動に取り組んでまいります。		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	防災防犯課
-----	-------	-----	-------

件 名	防災行政無線放送について
状 況 等	<p>防災行政無線放送については、「放送が聞こえない」や「放送が聞き取りにくい」といったご要望を踏まえまして、現地確認の上、音量調整やスピーカーの方向調整等の作業を実施しておりますが、天候や風向き、遮音性が高い建物の中にいるなどの状況によって問題解決に至らない場合もございますので、放送内容を「市の公式ホームページ」に掲載しているほか、放送内容が電子メールで配信される「いわてモバイルメールサービス」、放送内容がスマートフォン用アプリにプッシュ通知される「滝沢N.AVI」、放送日であれば何度でも放送内容が確認できる「電話応答サービス(019-684-4192)」等を通じて、放送内容の周知に努めております。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。</p>

件 名	災害危険箇所の視察・対策について
状 況 等	<p>出水期前に災害リスクの高い箇所について関係機関と連携した現地視察を実施して情報共有を図ることで、地域の危険箇所の把握と早期対策の推進に努めております。</p> <p>また、自主防災組織による防災訓練等を支援することで住民の防災意識の向上およびソフト対策の強化にも取り組んでおり、災害発生時の迅速かつ円滑な対応を目指しております。</p>

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	環境課
件 名	ペットの飼育について		
状 況 等	<p>地域の中で人とペットが良い関係性で生活ができるよう、飼い主のマナーに関する啓発を行うとともに、犬については、犬の飼い方教室の開催等の取組を継続して行っています。</p> <p>また、犬の飼育について、市の条例で制限することは考えておりません。</p>		
件 名	狂犬病予防注射集団接種の実施について		
状 況 等	<p>狂犬病予防注射集団接種については、安全管理や必要経費の課題等を総合的に鑑みて、現在は実施しておりません。</p> <p>集団接種を利用されていた飼い主の皆様には、申し訳ございませんが、動物病院での接種にご理解とご協力をお願いいたします。</p>		
件 名	太陽光発電施設の設置について		
状 況 等	<p>太陽光発電施設の設置に当たっては、国が示すガイドラインや本市の指針に基づき、事業者に対し、計画策定段階から森林法(林地開発許可制度)や水質保全関係法令等を遵守するとともに、地域住民への十分な配慮を行うよう指導しております。</p>		
件 名	市単独での火葬場の整備について		
状 況 等	<p>当市には火葬場がないことから、市民の皆様には他自治体の施設をご利用いただいておりますが、その際の利用料については、市が一部を給付金として支給しております。</p> <p>現在の利用状況や市の財政状況を総合的に勘案しますと、市単独で火葬場を整備することは困難であると考えております。</p>		
件 名	ごみステーションとごみ分別について		
状 況 等	<p>ごみ集積所の設置、管理、利用世帯等については、管理主体である地元自治会が取り決めております。ごみ集積所の関係でお困りの場合は、直接地元自治会又は滝沢・雫石環境組合へご相談ください。</p> <p>また、ごみ分別につきましては、さらなるごみ減量、資源化の推進のため、スーパー等の店頭回収、集団資源回収、小型家電回収等を積極的にご活用いただくことが重要であると考えておりますので、引き続きご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。</p>		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	市民環境部	課 名	市民課
件 名	マイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービスの充実について		
状 況 等	コンビニ交付サービスのさらなる充実のため、取得できる証明書の範囲拡大を検討しておりますが、当市の現状ではシステム面での制約や課題があり、即時の実施は難しい状況です。今後もコンビニ交付サービスを含め、証明書交付サービス全般の利便性の向上に取り組んでまいります。		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康こども部	課 名	健康づくり課
件 名	医療の充実について		
状 況 等	<p>市内には、2つの病院と16の診療所、19の歯科診療所があり、診療科目は、内科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、小児科となっております。市民の皆さんには、市内医療機関だけではなく、隣接している盛岡市等の医療機関を利用いただいていることを認識しております。救急医療については、岩手西北医師会の協力により、休日日中の比較的軽症の場合の対応をしているほか、盛岡市医師会の協力により、盛岡広域市町による夜間の比較的重症の場合の対応を行っております。地域医療については、地域の実情や医療資源等を踏まえて、盛岡保健医療圏の中での広域的な視点も含めた検討をし、県や各医師会と連携しながら、地域医療体制の維持、充実を図ってまいります。</p>		
件 名	予防接種について		
状 況 等	<p>予防接種法に基づく定期接種については、集団予防のため接種の努力義務が課される疾病では、接種費用の全額助成を基本としております。しかしながら、季節性インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の、個人予防のため接種の努力義務が課されない疾病では、接種を受ける方から自己負担を求めています。そのような予防接種は、主治医に相談の上、ワクチンを選択していただくなど、個人の意思により接種いただいております。今後も、助成額については、他市町村の状況等を確認しながら、検討してまいりたいと考えております。</p>		
件 名	各種検診(健診)について		
状 況 等	<p>市では、地域におけるがんの死亡率を減少させることを目的に、胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん検診を実施しております。また、がん検診のほか、身体測定、尿検査、血液検査等の特定健診や長寿健診のほか、肝炎ウイルス検査、歯周疾患検診等を実施しております。検診(健診)の自己負担額はそれぞれ異なりますが、がん検診などでは、高齢者や低所得者の費用免除を実施しております。各種検診(健診)の指定医療機関につきましては、現在市内の医療機関が主ではありますが、受診できる医療機関の拡充については、今後も検討してまいります。</p>		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康こども部	課 名	子育て課
件 名	子育て支援、子育て環境の充実について		
状 況 等	<p>市では子どもが安心して暮らせる環境づくりを目指し、「第3期滝沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育てに関する施策に総合的に取り組んでいます。</p> <p>保護者の働き方の変化や幼児教育・保育への関心の高まりにより教育・保育ニーズが高くなっていることから、今後も引き続き多様で質の高い育ちの環境の提供に取り組みます。また、放課後の子どもたちの居場所については放課後児童クラブの環境改善を図るほか、ニーズに対応できるよう地域資源を活用した場の検討を慎重に進めます。</p> <p>子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和5年度から第2子以降の保育料の無償化事業を実施しており、令和6年度からは児童手当の拡充を実施しております。令和7年度は国の補助金を活用した物価高対応子育て応援手当支給事業を実施します。</p>		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康子ども部	課 名	子ども家庭センター
件 名	事情のあるこどもの情報について		
状 況 等	<p>子ども家庭センターは、すべての妊産婦、子育て世帯、こどもを対象とした相談窓口です。妊娠・出産・子育てに関すること、こどもの生活習慣・しつけ、こどもの発達・発育、こどもや家庭に関するお悩みなど、相談内容に合わせて、保健師・助産師・子ども家庭支援員などの専門資格を持ったスタッフが相談に対応します。今後も相談窓口としての周知に努め、相談しやすい体制を整えてまいります。</p>		
件 名	子どもの健診の効率(部屋の移動が多い)について		
状 況 等	<p>貴重なご意見ありがとうございます。子どもの健診では、保護者の方への問診や子どもの発達に関する検査など各種検査等を行い、丁寧にお子さんの様子を見るための環境が必要となることから、お部屋を分けて実施しております。今後も各種健診において、子どもの健康状態や心身の発達、病気等を早期に発見し、また、保護者の方の育児の不安や悩みを傾聴して適切な助言ができる健診となるよう整備してまいります。</p>		
件 名	発達障がい早期発見(就学前)について		
状 況 等	<p>子ども家庭センターでは、妊娠・出産・子育て期において切れ目ない支援を行えるよう、各乳幼児健診において発達に関する検査等を行い、必要に応じて医療機関への受診勧奨の他、個別育児相談等を通じた相談業務を行っております。今後も、保護者の不安の軽減や、お子さん自身の生活の中で困り感を軽減できるよう、事業の周知や各種相談等を継続してまいります。</p>		
件 名	「赤ちゃんの運動・発達」、赤ちゃんを学べる場について		
状 況 等	<p>ご意見ありがとうございます。子ども家庭センターでは、妊娠期は母子健康手帳交付時から始まり、両親学級等の事業、産後は乳幼児全戸訪問事業や乳幼児健診、すこやか健康相談等の事業を通じて、赤ちゃんの発育や発達についてお伝えし、赤ちゃんへの対応に悩む保護者がいる場合には個別の対応により保健師・助産師による助言・指導を行っています。赤ちゃんの成長発達は個人差が大きいものであるため、個別の相談対応を基本としながら、より多くの保護者の困り感の軽減につながるよう、啓発や相談体制について検討を重ねてまいります。</p>		
件 名	不妊治療の助成金について		
状 況 等	<p>ご意見ありがとうございます。本市では令和4年4月の保険適用が拡大されるまでの間、特定不妊治療について助成してまいりましたが、現在は助成制度は実施しておりません。今後、不妊治療に係る経済的負担を軽減し、妊娠を望む市民が安心して治療を受けられるよう、助成制度の施策について検討してまいります。</p>		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康こども部	課 名	こども家庭センター
-----	--------	-----	-----------

件 名	5歳児健診、市と園との関わりについて
状 況 等	5歳児健診は、保護者の同意を得たうえで園とも連携しながら実施しており、実施後は、園でのお子さんのご様子や保護者の方の困りごと等も踏まえながら、個別の育児相談や市の療育教室、保育園等巡回相談、幼児ことばの教室等の支援につないでいます。また、5歳児健診の対象は年度内に5歳になる幼児(標準的には4歳6か月～5歳6か月頃)とされているため、園との連携も踏まえて秋の園健診に併せて実施しています。今後も、適切な支援をもってこどもの健康保持が図られるよう、各機関との連携を継続しながら健診を実施してまいります。

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	健康こども部	課 名	保険年金課
件 名	子ども医療費給付について		
状 況 等	<p>子ども医療費給付につきましては、皆様からいただいたご意見を参考にしながら、今後も更なる拡大を目指し、検討してまいります。</p> <p>なお、子ども医療費の無償化については、継続的に多額の費用が必要となるため、市の施策全体の中で優先度を考え検討してまいります。</p>		
件 名	健康保険証の発行について		
状 況 等	<p>高齢の方等がマイナンバーカードの健康保険証利用について不便さを感じられる場合を想定し、高齢及び障がい等により第三者の受診介助が必要な方（「要配慮者」と言います）については、申請により、従前の健康保険証と同じ形の「資格確認書」を発行していますので、ご利用ください。</p> <p>なお、後期高齢者やマイナンバーカードをお持ちでない方、マイナンバーカードを「マイナ保険証」として利用登録していない方、電子証明書の有効期限切れの方、DV等による支援措置者については、申請不要で資格確認書を発行しています。</p>		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	福祉部	課 名	地域福祉課
件 名	一人暮らしに対しての行政等の見守りについて		
状 況 等	地域には民生児童委員がおり、地域住民の身近な相談役として活動しております。もしも普段から気にかけてほしいことがありましたら、まずはご相談いただきますようお願いいたします。		
件 名	学校通学中の障がい児に対する支援について		
状 況 等	放課後等デイサービスにより、学校通学中の障がい児に、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流等を行い、放課後等の居場所づくりを行っております。実施主体は民間事業者であるため、事業者へ支援金を支給すること等により、事業運営を引き続き支援してまいります。		
件 名	自治会の募金について		
状 況 等	本市で取り扱っている募金につきましては、それぞれ異なる趣旨のものであるため、募金自体を減らすことは難しいと考えております。 具体的な集金方法は基本的に各自治会に委ねているため必ずしも回覧である必要はございません。まとめて集金する方法等、各自治会で決定した方法をとっていただくようお願いいたします。		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	福祉部	課 名	高齢者福祉課
件 名	福祉バスを含む高齢者向け交通政策の在り方について		
状 況 等	<p>現在、福祉バスは、睦大学(高齢者生きがい対策大学)学生の送迎用として位置付けながらも、一般市民の皆様にもご利用いただけるよう運行しています。</p> <p>毎週月曜日と金曜日、市内3路線を一日1往復(祝祭日・お盆・年末年始除く 3月は運休)運行しております。</p> <p>令和8年度については4月～9月についてはこれまでどおり運行の予定です。</p> <p>10月～3月につきましては、コミュニティバス(仮称)として、市内の総合的な交通政策体系へ位置づけ、民間バス事業者や自治会・市民の皆さんとの協議のうえで新たな形での交通政策実施を予定しています。</p> <p>今後新しい形でのコミュニティバス(仮称)の運行形態や市民の皆様の利用状況等を把握しながら、高齢者向けの移動支援について検討してまいります。</p>		
件 名	高齢者福祉行政について(介護保険料が高い・介護保険不利用高齢者から保険料はとるべきでない等)		
状 況 等	<p>現在滝沢市では、「滝沢市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(第9期)」に基づき、介護保険制度をはじめ、介護予防・地域福祉活動等、各種施策を展開しているところです。</p> <p>介護保険制度の基本理念は、「高齢者がその有する能力に応じて、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしく自立した日常生活を営むことができるよう支援すること」です。</p> <p>これを実現するためには、計画的な介護サービス提供に係る財源確保のため適切な保険料の負担が必要となります。</p> <p>市では今後これまで以上の「超高齢化社会」を迎えます。そのため、全ての高齢者の皆さんに「住み慣れた地域で自分らしく日常生活を送っていただく」ための相互扶助・応能負担につきまして、ご理解・ご協力をお願いします。</p> <p>なお、介護保険制度や家族介護相談についての窓口として市内に3カ所の「地域包括支援センター」を設置しております。お気軽にご相談ください。</p>		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	福祉部	課 名	地域包括支援センター
件 名	高齢者の買い物支援について		
状 況 等	<p>滝沢市には複数の移動販売業者がサービスを提供しており、買い物で困っている高齢者から地域包括支援センターへ相談があれば利用できる業者を情報提供させていただいております。今後も情報収集に努めながら市民の皆様にご利用いただけるよう努めてまいります。</p>		
件 名	冬期間の高齢者の居場所や過ごし方について		
状 況 等	<p>市では特定の施設に対して、斡旋のような業務は行っておりませんが、高齢者ご本人のご希望をお伺いした上で、市内の施設の情報提供等を行っております。市で把握しているお一人暮らしの高齢者は3,684世帯(R7.9月末現在)ございます。市を3つの圏域(北部・中部・南部)に分け、それぞれの圏域担当の地域包括支援センターが、何らかの社会資源に繋がっていないお一人暮らしの高齢者宅を訪問し、生活の状況やお困りごとをお伺いしており、公的なサービス他様々な社会資源を必要に応じてご案内しております。今後も、情報収集に努めながら、市民の皆様へのお悩みに寄り添い、支援をしてまいります。</p>		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	経済産業部	課 名	観光物産課
-----	-------	-----	-------

件 名	滝沢市の花火大会について
状 況 等	滝沢市で開催される打上げ花火は、滝沢市産業まつり実行委員会で企画をしております。令和8年度の開催については、今後の産業まつり実行委員会の総会(例年5月から6月)において決定しますので、開催時期が確定次第、市ホームページや市広報にて周知させていただきます。

件 名	滝祭の花火打ち上げ時における道路渋滞について
状 況 等	滝沢市で開催される打上げ花火は、滝沢市産業まつり実行委員会が実施しております。ご意見については、実行委員会に伝えるとともに警察への巡回依頼や交通整備等の渋滞対策を講じてまいります。

件 名	チャグチャグ馬コの引き手、乗り手の募集について
状 況 等	チャグチャグ馬コ保存会では、出馬頭数の減少に伴い令和6年から引手、乗り手の公募を取りやめています。

件 名	ふるさと納税の返礼品について
状 況 等	ふるさと納税返礼品については、市と一般社団法人滝沢市観光物産協会が協力しながら、返礼品を提供できる市内事業者の発掘と商品開発を行っております。また、ふるさと納税の推進には、市役所内の横断的な取り組みのほか、滝沢市商工会、滝沢市観光物産協会及び市で連携し組織した「滝沢市特産品開発連絡会」や外部団体との連携も重要と考えております。今後さらにふるさと納税の魅力を高めご寄附をいただけるよう、引き続き寄附しやすい環境の整備と新たな返礼品の登録を進め、事業展開してまいります。

件 名	特産品について
状 況 等	ご意見いただきありがとうございます。滝沢市のお土産品としては、滝沢スイカやリンゴ、滝沢かんしょなどの1次産品のほか、滝沢りんごワイン「ポム」、「ポムライト」、「ポムシールド」などのお酒類、滝沢スイカスパークリングや滝沢市産リンゴを使ったチャグチャグスパークなどの飲料を販売しております。ご意見をいただきました「チャグチャグ馬コサブレ」につきましては、ビッグルーフ滝沢の滝沢キッチンにて「馬ッコサブレ」として販売しております。現在、新たに市のお土産品を開発するために特産品開発アイデアコンクールを実施し、特産品の創出を図っているところであります。今後も、イベントや各種媒体を通じてこれら特産品のアピールし、市内外の方々にお買い求めいただけるよう努めてまいります。

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	経済産業部	課 名	企業振興課
件 名	企業誘致について		
状 況 等	<p>本市の企業誘致におきましては、これまで既存の立地企業に加え、IT企業の集積を図る「滝沢市IPUイノベーションパーク」、および流通業の拠点となる「盛岡西リサーチパーク」の整備を推進して参りました。その結果、現在では計画入居企業数の9割を超える企業を誘致するに至っております。</p> <p>この好調な状況を受け、現在は「滝沢市IPUイノベーションパーク」の拡張計画を進めており、岩手県立大学や周辺立地企業との親和性が高い企業を検討するとともに、今後は製造業を含めた多様な業種の企業誘致活動を積極的に展開していく考えです。</p> <p>また、産業基盤の充実に合わせ、現在は滝沢市役所前の「中心拠点商業地区」の開発も進んでおります。民間開発による約15ヘクタールの造成が完成を迎え、本年春以降は立地企業の建設が本格的に始まる予定です。</p> <p>今後におきましても、こうした滝沢市の特色を最大限に活かし、地域経済の活性化と市民生活の利便性向上を目指して、より一層の企業誘致に取り組んで参ります。</p>		
件 名	雇用の確保について		
状 況 等	<p>雇用の確保につきましては、岩手県立大学前に整備した「滝沢市IPUイノベーションパーク」への企業誘致を柱とし、新たな雇用創出に注力しております。あわせて、本市に集積したICT関連企業や大学が持つ高度なポテンシャルを最大限に活用し、IoT等の導入による市内事業所の生産性向上を支援して参ります。これにより、各事業所の持続的な経営を支え、安定的な雇用の維持・確保を目指す考えです。</p> <p>また、若者の定着支援としましては、市内企業へのインターンを始め、共同研究やイノベーションパークでのイベント開催を通じ、学生が地元企業と接する機会を創出しております。そして滝沢市役所においても積極的にインターンの受け入れを行っております。こうした取り組みにより、若者が滝沢市への愛着を深められるよう、若者活躍推進室事業との連携も強力に推進しているところです。</p> <p>さらに、現在進んでいる中心拠点商業地区の開発に際しましても、多くの企業が集積することで大幅な雇用の拡大が期待されます。今後、立地企業との連携をより一層深め、実効性の高い雇用促進施策を展開して参ります。</p> <p>以上のように、行政・企業・大学といったさまざまな組織と個人をつなぎ、地域全体を活性化させることで、将来にわたる安心した雇用の確保に努めて参ります。</p>		
件 名	商業について		
状 況 等	<p>本市の商業環境につきましては、大規模小売店舗の多くが隣接する盛岡市内に所在していることから、これまで市域内への立地が限られてきたという現状がございます。</p> <p>こうした中、現在進められている「中心拠点商業地区」の開発は、市が掲げる「結のまち滝沢」というコンセプトに基づき、買い物や飲食、医療・健康増進、そして子育て支援の機能を備えた拠点の構築を目指しております。この開発により、市内外から中心拠点を核とした人の流れを創出し、地域のまちづくり活動の新たな中心地となることを期待しており、現在、各企業の建設が順次進められているところです。</p> <p>一方で、その他の地域におきましては、商圈人口等の条件から民間事業者の進出が難しく、買い物弱者の増加が顕著な課題となっております。こうした状況を重く受け止め、単なる商業誘致にとどまらず、さまざまな関係機関や企業と密接に連携し、地域ごとの課題把握とその解決に努めていくことが重要であると認識しております。</p> <p>商業の活性化を支えるためには、地元での消費が不可欠です。今後は、市民の皆様の利便性向上を図るとともに、関係人口を増やす施策を一層強化することで、地域経済が循環する持続可能なまちづくりを推進して参ります。</p>		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	経済産業部	課 名	若者活躍推進室
-----	-------	-----	---------

件 名	学生の市内就職について
状 況 等	<p>次代を担う若者に地元企業の魅力を知ってもらうため、現在、高校や大学と連携した事業の充実に力を注いでおります。市商工会および青年部と共催する職業マッチングイベントや企業説明会のほか、盛岡広域圏で実施している企業見学ツアーなどを通じ、学生と企業の接点づくりを積極的に推進しております。こうした機会を通じて、市内企業をはじめとする豊富な情報提供を行い、就職先の選択肢を広げる取り組みを継続しているところです。</p> <p>今後におきましても、学生や大学との連携・交流の機会をこれまで以上に創出し、本市への愛着醸成を図るとともに、地元企業の魅力をダイレクトに伝える活動を展開して参ります。</p> <p>加えて、卒業後に県外へ就職した若者との継続的な交流事業も実施し、将来的なUターン就職を後押しする支援策を検討して参ります。また、岩手県や広域圏とも足並みをそろえ、U・Iターン人材の確保に向けた補助制度を強化していく予定です。学生や若者の皆様にとって、滝沢市が「働きたい、住み続けたい」と思える魅力的な街となるよう、各施策を力強く押し進めて参ります。</p>

件 名	若者主体の活動支援について
状 況 等	<p>本市は、市内に2つの高校と2つの大学を擁する、県内でも有数の学園都市です。この特色を最大限に活かし、若者世代が自己実現に向けてさまざまな分野で活躍できるよう、多角的な支援を展開しております。</p> <p>今年度の取り組みといたしましては、若者と地域の諸団体が連携して実践した活動を披露する「滝沢ミライプロジェクト」(プレゼンコンテスト)を継続して開催しております。あわせて、滝沢市IPUイノベーションパーク等の施設を拠点に、学生・企業・地域住民の皆様が世代を超えて交流し、相互理解を深める場を提供して参りました。さらに本年度からは、若者の主体的・意欲的な活動を資金面からバックアップする「若者応援補助金制度」を創設し、具体的な活動支援を開始しております。</p> <p>今後におきましても、若者の自主性に寄り添い、その一歩を踏み出す勇気を尊重することで、新しい価値が生まれる環境づくりに努めて参ります。また、企業や地域と連携した多様な活動の場を創出するとともに、学生が主体となって進める事業への支援をさらに広げ、若者がいきいきと輝ける街を目指して参ります。</p>

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	経済産業部	課 名	農林課
件 名	クマ対策及び情報発信について		
状 況 等	<p>クマが出没した際は、警察・猟友会と協力しパトロールを実施しております。出没が特に多い箇所や農作物被害が発生している箇所などは追跡調査を行い、罠を設置し必要に応じた駆除を行っています。</p> <p>クマ出没情報については、市で把握した内容は全てホームページに記載しているほか、情報の鮮度や時間帯などを勘案し、可能な範囲で防災行政無線放送による周知を行っております。防災行政無線で放送している内容は、市のホームページに掲載しているほか、いわてモバイルメール及び滝沢NAVIというアプリでも配信しております。また、出没情報のマッピング化については、来年度リリースに向けて、現在開発を進めているところです。</p>		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	都市整備部	課 名	都市政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	市内の公共交通について
状 況 等	<p>市内の公共交通、特に路線バスについては県内で盛岡市に次いで本数が多く、他自治体と比較すると多く運行されている状況にあります。但し、人口減少、マイカー依存の影響に加え新型コロナウイルス感染症により、公共交通の利用者が減少し、利用者の回復は見込めない状況となっています。県内の路線バスやタクシーにおいても、利用者の減少による交通事業者の経営悪化や、運転士不足による路線バスの大幅な減便、タクシー運行の減少や廃業が相次いでいる状況にあります。市では、既存の公共交通の利用が難しい高齢者、公共交通不便地域の住民、さらには今後増えてくる運転免許返納者の移動手段の確保が課題であると認識しております。</p> <p>このようなことから、令和7年9月に盛岡都市圏を構成する3市町(盛岡市、矢巾町、市)において、「盛岡都市圏地域公共交通計画」を策定し、効率的かつ持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指し、地域公共交通の維持・確保に向けた取組を推進しております。</p> <p>市では、路線維持のための交通事業者への支援、福祉バス及び患者輸送車の再編による新しいコミュニティバスの運行に向けた検討や地域主体の交通サービスの検討を行っており、今後も地域や市民、交通事業者、行政が一体となり、それぞれの地域特性に応じた交通サービスについて、検討を進めてまいります。</p>

件 名	空き家対策について
状 況 等	<p>市内の空き家については、年々増加傾向にあり、特に管理が不十分な空き家が増えることで衛生面や防犯面等で周囲に悪影響を及ぼすことが危惧されることから、既存の空き家の利活用を図ることが課題となっております。</p> <p>市の空き家対策につきましては、令和4年3月に策定した「滝沢市空家等対策計画」に基づき、各施策を展開しているところであります。</p> <p>今後におきましても、市空家等対策計画を推進し、良好な住環境の形成に努めてまいります。</p>

件 名	市の都市計画・土地利用について
状 況 等	<p>人口減少・少子高齢化が進む現代において、地方都市では、各種生活機能を確保し、だれもが安心して暮らせるよう、地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくりの推進が重要となっております。</p> <p>市では、都市づくりの目指すべき方向性、整備方針及び地域ごとの特性を生かした将来のあるべき姿を、滝沢市総合計画や国土利用計画滝沢市計画の内容に沿いながら、その指針として「滝沢市都市計画マスタープラン」を平成27年3月に策定し、「人と人が結ばれる集約・連携型都市」を将来目標として各施策を展開しております。</p> <p>現在、市役所周辺を商業、行政、医療、教育等都市機能の集積を図り、都市の中心を担う「中心拠点地区」として位置付け、その一角を担う商業地について民間事業者による開発を進めているところであります。今後の進捗状況につきましては、商業施設等のオープンに向けて市民等へ広く周知を図ってまいります。</p> <p>また、菓子地区、元村地区、鶴飼地区など、市内の人口集中地区についてはそれぞれ「地域拠点」と位置付けており、各地域の特徴を活かしながら、人とのつながりが生まれる「場」の創出と「場」へのアクセス網の形成を意識したまちづくりを展開していくものとしております。</p> <p>さらには、雇用や活力を生む「産業拠点」として、盛岡西リサーチパーク、岩手県立大学周辺、東北自動車道インターチェンジ周辺を形成していくものとしております。</p> <p>市では、将来の人口減少や高齢化社会を見据え、これらの拠点の形成に努めるとともに各拠点間を公共交通で結ぶ集約・連携型の持続可能な都市づくりを目指してまいります。</p>

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	都市整備部	課 名	道路課
件 名	道路の除雪について		
状 況 等	<p>○市が除雪をする道路 市道及び市が管理する法定外公共物(赤線等)について除雪を行っております。また、幹線道路(バス路線)や通学路となる主要な歩道の除雪を優先的に実施しています。</p> <p>○市の除雪方法 市が行う除雪方法は、除雪機械で道路脇に雪を寄せる方法で、寄せた雪を移動させたり、道路から運び出すなどの排雪作業は実施しておりませんので、家の前に寄せられた雪の片づけは市民の皆様にご協力いただいております。なお、市が行った除雪に対する排雪について、バス路線については、バスの通行を確保するため、排雪をすることがあります。</p> <p>○除雪の適切な実施 市道の除雪は早期完了を目標に行っておりますが、降雪量、雪の降り方、地域の状況などにより完了時間は左右されます。そのため、積雪による交通障害が予想される場合には、職員によるパトロールの実施等による確認、各地区ごとの委託業者の中から班長を定めるなど、地域にあった除雪や適切な出動判断、初期除雪の徹底に努めております。</p> <p>○除雪の仕上がりや頻度 市内を地区分けし除雪を行っておりますが、地区により降雪状況が異なる場合は 地区毎に出動を指示する場合がありますため除雪回数に差が出る場合があります。作業員の資質の向上と作業の均一化などを業者とともに一層徹底してまいります。</p> <p>○除雪業者の状況と対応 除雪業者においては、除雪オペレーターの高齢化や人員(担い手)不足に加え、住宅開発などで除雪対象路線は増加しているため負担は増加しています。このような状況をふまえ、市では市民と業者との相互理解の促進と協働除雪の意識醸成を図ってまいります。なお、協働除雪については、国分団地・鶴飼温泉団地・上の山団地・あすみ野団地の4地区で実施しています。詳しくは、令和7年12月号の広報をご覧ください。</p> <p>○私道除雪補助 市では、一定の要件を満たす私道の除雪経費に対する補助金を設け、私道の除雪を支援しています。詳しくは道路課までお問合せください。</p> <p>○暴風雪などの対策 暴風雪などによる吹き溜まりが多い市内の幹線道路で通学路となっている路線について、防雪柵等を設置し、車輛及び歩行者の安全確保を図っています。</p> <p>○市からの情報について 毎年、広報12月号にて除雪に関する情報を掲載していますので、ご覧ください。</p>		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	都市整備部	課 名	道路課
-----	-------	-----	-----

件 名	道路の整備について
状 況 等	<p>○歩道の整備促進 新設改良の際に歩道を整備しているほか、小学校などの教育施設周辺から交通安全対策として順次整備を進めております。なお、歩道を整備する際は段差の少ないバリアフリー構造としております。</p> <p>○道路の新設や改良・改修促進 市総合計画等と整合した箇所や幹線市道について、優先的に進めております。また、財政等の理由で早期に整備が難しい箇所については部分的な側溝改修や路肩拡幅等により、歩行者や車両すれ違い空間の確保を図っていきます。</p> <p>○市以外が管理する道路への整備要望 国・県等が管理する道路について、学校や自治会、住民の方々からいただきました意見につきましては、情報提供を行い、歩道整備や道路拡幅の要望を行っております。なお、横断歩道や一時停止のライン設置については、所管する警察の対応となり、市は、適宜、市民等からの要望を伝えています。</p> <p>○私道整備補助 市では、私道等の整備に対し補助金を設け、私道の整備を支援しています。要件等ございますので、詳しくは道路課までお問合せください。</p>

件 名	道路の維持管理について
状 況 等	<p>○市が維持・管理をする道路 市道及び市が管理する法定外公共物(赤線等)の維持管理を行っております。</p> <p>○市道維持管理全般 日常的に道路パトロールを行い、即時対応できる簡易な補修はその場で行うなど迅速化を図っています。しかしながら市道延長は500km以上あり、全ての状況を短期間に把握することは難しいため、道路を利用される方々からも情報提供をお願いします。</p> <p>○計画的な修繕 舗装の全面補修や側溝設置など費用が大きい工事については、市の修繕計画の中で危険度や緊急性を検討し順次修繕を進めています。</p>

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	都市整備部	課 名	河川公園課
-----	-------	-----	-------

件 名	公園遊具の新設・更新について
状 況 等	<p>遊具を設置する場合、安全確保のため周囲に相当のスペースを確保する必要がありますが、市で管理する団地内にある公園の多くが小規模であるため、自由に使えるスペースが狭くなってしまうなどの問題がございます。</p> <p>また、市で管理する遊具の多くは設置から相当の年数が経過しており、安全で安心して利用できる公園を維持するため、自治会の意向を確認しながら古くなった遊具の修繕・更新・撤去を優先して進めております。</p> <p>そのため、現時点においては団地内にある小規模な公園に遊具を増やすことが難しい状況でございます。</p>

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	上下水道部	課 名	経営課
-----	-------	-----	-----

件 名	滝祭における情報発信について
状 況 等	お褒めのことばを賜りありがとうございます。今後も上下水道事業への取り組みを積極的に情報発信してまいります。

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	上下水道部	課 名	施設課
-----	-------	-----	-----

件 名	公共下水道の整備について
状 況 等	<p>市街化区域における公共下水道の整備は未普及地域への汚水管渠の整備により水洗化をすすめており、令和9年度に概ね完了予定です。今後は、既設公共下水道施設の耐震化及び老朽化対策を進めてまいります。</p> <p>市街化調整区域については、下水道整備の効率性及び採算性を勘案しながら事業計画区域を検討してまいります。</p> <p>また、公共下水道処理区域外の地域については、個別合併処理浄化槽の普及を図ることにより、水洗化を促進してまいります。毎年、個別合併処理浄化槽の設置に対する補助金制度を実施しており、国の補助金制度に加えて、市単独の嵩上げ補助を実施しております。</p>

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	総務課
-----	-------	-----	-----

件 名	職員の対応及び組織について
状 況 等	職員の対応につきまして、お褒め頂きました言葉を励みとし、一層丁寧な対応を心掛けていきますとともに、ご期待に沿えなかった点につきまして真摯に受け止め、職員の能力向上のための研修受講や指導に努め、改善してまいります。また、行政サービスを行っていく上で必要となる組織の適正な在り方について見直しを進めてまいります。

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
件 名	アンケートの内容について(抽象的ではないか、難解である等)		
状 況 等	<p>たきざわ幸福実感アンケートは、市民の皆様が普段の生活でどのようなことを感じ、考えているかを測るため、平成15年度から毎年度実施しています。また、アンケートの結果については、第2次滝沢市総合計画や、各施策等の様々な指標として、その進捗状況の確認に用いることで、「やさしさに包まれた滝沢」の実現に大きく寄与するものと考えています。また、長期間継続して実施しているものであり、市民の皆様のご協力により集められているこのデータは、皆様の暮らしや考え方の推移を捉えられる貴重なものとなっています。</p> <p>しかしながら、多数の設問への回答が皆さんへの負担になっているとのこと指摘も複数寄せられております。本年度アンケート調査項目の再検討を行い、10問以上の設問削除を実施しましたが、未だに設問数が多い旨のご意見を頂いております。そのため、市では引き続きアンケート調査項目内容の再検討を進めたいと考えております。ご回答をいただく皆様へは大変お手数をおかけしますが、趣旨目的をご理解いただき、今後ともご協力いただけますと幸いです。</p>		
件 名	市長公約である盛岡赤十字病院誘致について(進捗状況、誘致して欲しい等)		
状 況 等	<p>盛岡赤十字病院誘致に向けた取組も含め、市長公約は全て第2次滝沢市総合計画に盛り込み、各種施策を展開することとしています。</p> <p>その中で盛岡赤十字病院誘致に関しては、医療機関誘致に向けた基礎資料としての活用も見込み、令和6年度はまず本市の地域医療の現状を明らかにする取組として市民アンケート調査及び医療機関との意見交換を実施しました。令和7年度には、追加の調査として、医療介護連携の要であるケアマネージャーへのアンケート調査及び高齢者介護施設との意見交換を行い、それら結果をまとめ、本年度末までに地域医療の在り方に関する報告書として取りまとめる予定としています。</p> <p>令和8年度以降は、取りまとめた報告書に記載した方向性を踏まえ、必要となる医療機関の誘致等の地域医療の充実に向けた取組を進めたいと考えております。</p>		
件 名	市内バランスのとれた開発について(地域ごとの差、自然との調和など)		
状 況 等	<p>本市では、第2次滝沢市総合計画基本構想に、土地利用の基本方針を定めており、「都市の利便性や各地域の特色を生かしつつ、自然の心地よさを体感できるまちづくり」を目指し、市役所周辺を中心拠点に、そのほか、北部、東部、西部、中央部、南部に地域拠点や産業拠点を置きつつ、利便性と持続可能性を意識した土地利用を推進することとしています。特に東部地域は、岩手県立大学や市IPUイノベーションセンター・パークを中心とした産業集積の拠点化を進めており、また、他の地域拠点と同様に、安全・安心な居住空間の形成や、日常的な生活サービスを提供する各種機能の強化を図り、人が集まり交流する環境を整えるための市土の活用を目指しています。</p>		
件 名	市民の市政への参画について		
状 況 等	<p>従来より、市HPのお問い合わせフォームや、市役所1階に設置している声の箱、各種計画策定時などのパブリックコメントなどにより市民の皆様のお声を広くいただき、市政へ反映してきております。</p> <p>それらに加え、今年度より市政に対するご意見や市長の目指す市の姿など、市民の皆さんと意見交換する場として、「タウンミーティング」を開催しておりますほか、以前から参加者の固定化などが課題となっていた市政懇談会について、「市長との座談会「市長と話そう」」へ一本化し、より気軽に開催でき、市長に直接意見を伝えられる機会として改編したところです。</p> <p>その他、各種審議会などにおいても、公募や会議の公開・傍聴なども行っておりますことから、市政への参画の機会の一つとしてご検討くださいますようお願いいたします。</p>		
件 名	その他のご意見等について		
状 況 等	<p>市政や暮らしに関して多数のご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。全て市民の皆様からの貴重な「想い」や「提言」と考えております。</p> <p>いただいたご意見は職員間で共有し、滝沢市がより住みよいまちとなるよう、引き続き取り組んでまいります。今後とも市政に対し御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。</p>		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	たきざわ魅力発信室
-----	-------	-----	-----------

件 名	情報発信について
状 況 等	<p>滝沢市では、現在、お知らせ版と合わせ月2回発行している「広報たきざわ」とホームページを始め、LINE、YouTube、インスタグラム、Xなど様々なSNS媒体や、スマートフォン向けアプリ滝沢NAVIなどを利用し、市内・市外に滝沢市を知ってもらうため、各課と連携しながら、市内で活躍するヒト、モノ、コトや市政情報などの発信に努めています。</p> <p>一方で、広報の他にも市が様々な媒体を使って情報発信をしていることを知らなかった（伝わっていない）という感想もいただくことがあります。</p> <p>また様々な媒体を利用した情報発信には、併せて、インターネット環境が無い方やSNSの利用が難しい方に対しても、誰一人取り残さない取り組みも必要です。SNS使い方教室なども引き続き開催しながら、情報格差の解消に向けた取組も進めていきます。</p> <p>発信媒体の選択や発信・発行回数など、広報紙と他の媒体との役割分担などを研究しながら、最大の効果を発揮していければと考えています。</p>

件 名	ホームページについて
状 況 等	<p>滝沢市では昨年度ホームページを大幅にリニューアルしました。</p> <p>誰もが支障なく利用できるという状態を指すアクセシビリティの実現を主眼におき、これまで課題としていたスマートフォン表示の対応や音声読み上げ・多言語翻訳といった機能を追加しました。また、イベントカレンダーを掲載し、滝沢市営業係長のちゃぐぼんが質問に答えるチャットボットの機能も導入しました。</p> <p>市民の皆様が知りたい情報は多種多様であり、それに応えたい思いから、滝沢市が伝えたい情報も膨大な量となっています。</p> <p>これからは、皆様が見たい情報にたどり着きやすくするために、より一層、必要な情報の取捨選択を進めると共に誰にでもやさしいホームページを目指してまいります。</p>

件 名	市ホームページちゃぐぼんチャットボットについて
状 況 等	<p>滝沢市では、皆さんが見たい情報を入手しやすくするために、自動の会話形式で問合せや情報提供に常時対応できるようチャットボットの機能を導入しています。</p> <p>市は、市公式キャラクターである滝沢市営業係長のちゃぐぼんを滝沢市を好きになっていただくための愛着醸成のツールとして積極的に活用しており、ちゃぐぼんが質問に答える形式で運用しているものです。</p> <p>この中でちゃぐぼんのキャラクター設定として、口語の語尾は「ぼん」で運用しておりますが、チャットボットとして利用する中では、回答について「です・ます」調の方が見やすいとのご意見も頂戴しております。</p> <p>ご意見を真摯に承りながら、皆さんの利用のしやすさやちゃぐぼんの営業係長としての役割を勘案していきたいと思っております。</p>

件 名	市公式LINEの配信について
状 況 等	<p>市公式LINEの登録ありがとうございます。</p> <p>市公式LINEでは、熊の出没情報や滝沢市のメディア露出情報、毎月の定例記者会見の内容など、いち早くお伝えしたい情報を、随時に発信しています、</p> <p>特にも、市民の皆さんに参加いただきたいイベントの情報は多数発信しています。</p> <p>中にはご自身のライフスタイルと直接関係しない内容が通知され、情報過多に感じられる場合もあると思われまます。</p> <p>今後、ご自身が欲しい分野を選択できるような機能を検討していくところではございますが、現状は、より多くの市政情報をお届けしたく発信している市に対し、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	企画総務部	課 名	財務課
件 名	財政運営について		
状 況 等	市では今年度に事務事業の点検を行ったところであり。今後も継続して、どこに重点をおいて事業を行うか検討し、事務事業の見直しにつなげていきたいと考えております。引き続き健全な財政運営に努めてまいります。		
件 名	市役所庁舎への大きな時計の再設置について		
状 況 等	以前の大きな時計につきましては、故障し修繕に多くの予算が必要となること、また、今はスマートフォンなどの電子機器も普及しており、その役割を終えたことから、再設置の予定はございません。ご期待に沿えず大変申し訳ございませんが、今後も市役所は皆さまにとって親しみやすい場所となるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	税務部	課 名	税務課
-----	-----	-----	-----

件 名	市税について
状 況 等	<p>個人住民税、固定資産税、軽自動車税につきましては、地方税法で定められた標準的な税率で皆様にご負担いただいております。また、国民健康保険税につきましても、被保険者皆様の医療費等を賄う額について、国、県、市でそれぞれ一定額を負担して税額を軽減したうえで、皆様にご負担いただいております。今後も適正な課税を心掛けてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。</p> <p>なお、個人住民税や国民健康保険税の制度上、前年中の所得額等に応じた額をご負担いただくこととなり、また毎年度の課税ともなりますので、前もって計画的に納付準備を進めていただきたくところですが、疾病や災害など特別な事情により納付が困難となった場合には、収納課までご相談いただきたくお願いいたします。</p>

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	税務部	課 名	収納課
件 名	市県民税(個人住民税)について		
状 況 等	<p>市県民税(個人住民税)は、毎年1月1日時点でお住まいの市区町村・都道府県に納めていただく地方税であり、原則として前年の所得に基づき、6月から翌年5月にかけて納付していただくものです。納付方法には、主に以下の2種類がございます。</p> <p>○給与天引き(特別徴収)：勤務先の給与から天引きされる方法です。</p> <p>○納付書(普通徴収)：ご自身で金融機関などで納付いただく方法です。※口座振替含む</p> <p>普通徴収の場合、納期は通常年4回に分かれています。(参考：令和7年度は4月30日、7月31日、9月30日、12月1日です。)</p> <p>皆様から納めていただく市県民税(個人住民税)は、ゴミ処理、学校教育、消防、道路整備といった、私たちの暮らしに身近な行政サービスに活用されていますので、今後につきましても、納税に対する一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>		
件 名	税金等の徴収を偶数月とすることについて		
状 況 等	<p>滝沢市税の納付期限は滝沢市税条例で定められております。</p> <p>納税者の一時的な負担軽減や計画的な納付を支援する目的で、できるだけ税目が重ならないよう年に数回に分けて納付期限を設定させていただいておりますので、何卒ご理解の程よろしくようお願い申し上げます。</p>		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会事務局	課 名	教育総務課
-----	----------	-----	-------

件 名	柳沢小中学校の今後の方向性について
状 況 等	柳沢小中学校につきましては令和10年度までは児童生徒数が20人前後で推移しますが、令和11年度以降児童生徒数が減少し、入学生のない学年の増加が見込まれております。令和5年度から毎年実施している学校教育の在り方に関する地域懇談会において、保護者及び地域の方からご意見を伺いながら、児童生徒の学びの充実のため、より良い教育環境について検討しているところです。

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会	課 名	学校教育指導課
-----	-------	-----	---------

件 名	学力向上について
状 況 等	現在実施しているさまざまなテストや調査を有効に活用し、学力の定着状況を把握し指導・改善に生かしながら、また、児童生徒の一人一台タブレットを効果的に活用しながら授業や家庭学習を推進し、学力向上を目指してまいります。

件 名	子どもの振る舞いについて
状 況 等	今後も引き続き、公共の場でのマナーや振る舞い、情報モラル等について、学校を通じて指導してまいります。

件 名	通学路・熱中症・クマ対策について
状 況 等	通学路は児童生徒の安全確保や交通量等地域の状況を踏まえて設定しており、危険箇所として改善要望があった場所は関係機関と合同で点検等を実施しております。今後も引き続き関係機関と連携し対応してまいります。 熱中症対策・野生動物への対応については、今後も各学校で作成しているマニュアルに基づき適切に対応してまいります。

件 名	プール活用授業について
状 況 等	今年度より市内小学校では、各小学校プールで外部実技指導者を活用した水泳実技指導を実施しております。また、中学校では各中学校プールの老朽化もあり水泳実技学習は実施しておりませんが、消防署指導のもと中学1年生生徒全員を対象に救急救命講習を取り入れた授業を行っております。 今後も引き続き小学校プールでの実技指導や中学校での救急救命講習を通じて、万一の事態において自他の命を守ることができる児童生徒の育成を目指してまいります。

件 名	子どもの学力について
状 況 等	現在実施しているさまざまなテストや調査を有効に活用し、学力の定着状況を把握し一人ひとりのつまずきに対してきめ細かな指導及び授業改善に生かしております。また、児童生徒の一人一台タブレットを効果的に活用しながら授業や家庭学習を推進し、学力向上を目指してまいります。

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会	課 名	学校教育指導課
-----	-------	-----	---------

件 名	部活動について
状 況 等	中学校の部活動は、保護者の皆様方より多大なご協力を賜り活動しております。各部活動では「育成会」や「保護者会」を設置しておりますので、中学校や各団体とさまざまな事案を共有しながら生徒の心身の育成に努めてまいります。

件 名	就学相談について
状 況 等	就学前のお子さんの行動や発達に関する悩みについて、市教育委員会では専門員が保護者の皆様からさまざまなお話を伺っております。また、通っている園を通じてのご相談にも応じておりますので、お気軽に市教育委員会や園にお問い合わせください。

件 名	子どものクマ対策について
状 況 等	出没が増加しているクマについて、今後も市と各学校とで連携し情報収集に努め、各学校で作成している危機管理マニュアルに基づき安全対策を行ってまいります。

件 名	滝沢市の教育について
状 況 等	本市では『「明るく かしく たくましい子ども」の育成』を学校教育目標に掲げ、学校や教職員、市が丸となりさまざまな取り組みを進めております。今年度は保護者様のご理解のもと中学校でのプール授業を廃止し救急救命講習を授業に取り入れ、また、小学校プール授業では外部実技指導者を活用し実技指導を実施しました。 今後も関係機関と連携し、豊かな心をもち、ものごとを深く考え、たくましい気力・体力をもつ子どもの育成に取り組んでまいります。

件 名	部活動加入について
状 況 等	市内中学校の部活動は、任意加入となっております。

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会	課 名	学校教育指導課
-----	-------	-----	---------

件 名	制服や運動着のリユースについて
状 況 等	市教育委員会主体のリユース事業は行っていませんが、中学校制服について令和9年度からの市内統一制服に向けて皆様方よりご意見等頂戴しているところです。統一制服となった場合は、学区を超えたリユースの傾向が拡大するものと考えます。

件 名	不登校対策について
状 況 等	市教育委員会では市役所分庁舎に「適応指導教室『フレンド滝沢』」を開設し、学校になかなか足が向かない傾向にある児童生徒への学習支援や学校復帰に向けての支援、保護者の皆様への支援を行っておりますので、お気軽にご相談ください。

件 名	通学について
状 況 等	道路事情や地理的事情等によりお子さんの通学にご負担をお掛けしている地域の保護者様につきまして、ご協力を賜りありがとうございます。 今後も引き続き関係機関と現状を把握し、安心安全な通学の確保に努めてまいります。

件 名	スクールガードについて
状 況 等	激励、お褒めのことばを賜りありがとうございます。

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会	課 名	生涯学習スポーツ課
件 名	スポーツ少年団や運動部活動による東北・全国大会出場者への応援について		
状 況 等	公益財団法人滝沢市スポーツ協会とも連携・協働して東北・全国大会などへ出場者や種目別協会、スポーツ少年団単位団の活動を応援しており、出場時の補助については今後のスポーツ推進に関する意見として参考とさせていただきます。		
件 名	体育施設の建設やトレーニングマシンなどの充実、駐車場内除雪、使用料の定額制について		
状 況 等	現時点では、既存施設を維持管理しながら市民の皆様にご活用いただくとともに、トレーニングマシンなどの更新を行っております。なお、令和6～7年度にかけて総合公園体育館と東部体育館内のトレーニングマシン更新を行っております。引き続き、利便性の向上を図ってまいります。また、体育施設駐車場内除雪や使用料の定額制については、指定管理者である公益財団法人滝沢市スポーツ協会と情報共有し、今後のスポーツ推進に関する意見として参考とさせていただきます。		
件 名	スケートボード推進について		
状 況 等	令和7年4月より市スケートボード協会が新設され、公益財団法人滝沢市スポーツ協会とも連携・協働してチャグチャグスポーツクラブ活動が展開されています。また、スケートボード愛好者の練習場所として滝沢総合公園内多目的広場を貸し出しております。		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	滝沢市教育委員会	課 名	文化振興課
-----	----------	-----	-------

件 名	図書館の新設について
状 況 等	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>現在市の図書館は、市役所向かいビュグループ滝沢内にある湖山図書館のみとなっております。また、遠隔地の市民への図書サービスとして移動図書館車「かっこう号」を市内6コース運行しております。</p> <p>ご要望のありました新たな図書館の開館については現在予定はございません。</p> <p>今後も遠隔地の方にも本に親しんでもらうため、移動図書館車の蔵書のさらなる充実を図ってまいります。</p>

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	教育委員会	課 名	学校給食センター
件 名	学校給食費の無償化について		
状 況 等	<p>近年の物価高騰の影響により、食材費も高騰しておりますが、国の「学校給食費の抜本的な負担軽減」の方針を踏まえ、市としても今後も児童生徒の保護者の学校給食費の負担軽減を図るよう検討し、取り組んでまいります。</p>		
件 名	学校給食での牛乳の取扱いについて		
状 況 等	<p>学校給食法施行規則第1条第2項で「完全給食とは、給食内容がパン又は米飯（これらに準ずる小麦粉食品、米加工食品）、ミルク及びおかずである給食をいう」とされています。また、児童・生徒の健全な発育のため、カルシウムなど必要な栄養素を給食で補給するよう「学校給食摂取基準」で定められています。カルシウムは1日に必要な50%を基準として給食で提供するよう示されていますが、牛乳はカルシウムの吸収率が高い食品であり、滝沢市では学校給食で提供しております。なお、食物アレルギーにより牛乳を飲むことができない児童生徒に対しては、学校生活管理指導表の写しの提出により、該当児童生徒への牛乳の提供を中止し、飲料用牛乳分の学校給食費を減額しています。</p>		
件 名	学校給食センターの老朽化について		
状 況 等	<p>滝沢市立学校給食センターは昭和59年4月に開設されており、安全安心な学校給食を確実に提供していくために、老朽化した施設や経年劣化した設備・機器等を計画的に更新し、衛生管理や調理環境の向上を図る必要があると考えております。</p>		

令和7年度 たきざわ幸福実感アンケートにおける自由記載意見について

部 名	議会事務局	課 名	議事総務課
-----	-------	-----	-------

件 名	市議会議員について
状 況 等	<p>市議会は、市と協力しながら市政を進める重要な役割を担っています。議員は市民の代表として、市の事務事業の実施状況を適切に監視し、民意を反映した議論や予算審議を行います。議会の決定を受けて市は予算などを執行できるため、議員は必要不可欠な存在です。</p> <p>予算審議のほかにも少人数の議員で構成する委員会が月に複数回開催しており、そこでは市の課題(教育、福祉、建設など)に関する調査や議会運営に必要なルールの協議等を行っています。また、地域の皆さんが抱える悩みや困りごとについて意見交換を行う「議会報告会」や、市民の皆さんが実際に議場で市への提言を行う「市民議会」などを開催しており、これらは市議会HPや議会広報紙でも情報発信をしております。</p> <p>議員の必要性や在り方について、さまざまなご意見があると思いますが、今後も市民の皆さんに信頼され、必要とされる議会を目指して取り組んでまいります。</p>